隣接チャネル選択度			
1　最大送信電力が三八デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）を超えるもの 基準感度より六デシベル高い希望波に対し、チャネル間隔が五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）五・〇〇二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）七・五〇七五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一〇・〇一二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が二〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一二・五〇二五MHz離れた周波数において、帯域幅が五MHzの変調された妨害波を（一）五二デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）で加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上	1　チャネル間隔が五MHzのもの 基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）五MHz離れた周波数において、基準感度より四五・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上（注3）	1　最大送信電力が二四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）を超え三八デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）以下のもの 基準感度より六デシベル高い希望波に対し、チャネル間隔が五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）五・〇〇二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）七・五〇七五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一〇・〇一二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が二〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一二・五〇二五MHz離れた周波数において、帯域幅が五MHzの変調された妨害波を（一）五二デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）で加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上
	2　チャネル間隔が一〇MHzのもの 基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）七・五MHz離れた周波数において、基準感度より四五・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合においてスループットがその最大値の九五％以上（注3）	2　最大送信電力が二四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）を超え三八デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）以下のもの 基準感度より六デシベル高い希望波に対し、チャネル間隔が五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）五・〇〇二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）七・五〇七五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一〇・〇一二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が二〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一二・五〇二五MHz離れた周波数において、帯域幅が五MHzの変調された妨害波を（一）四七デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）で加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上
	3　チャネル間隔が一五MHzのもの 基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）一〇MHz離れた周波数において、基準感度より四二・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上（注3）	3　最大送信電力が二〇デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）を超え二四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）以下のもの 基準感度より六デシベル高い希望波に対し、チャネル間隔が五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）五・〇〇二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）七・五〇七五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が一五MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一〇・〇一二五MHz離れた周波数において、チャネル間隔が二〇MHzのものにあつては希望波の周波数から（±）一二・五〇二五MHz離れた周波数において、帯域幅が五MHzの変調された妨害波を（一）四四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）で加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上
	4　チャネル間隔が二〇MHzのもの 基準感度より一四デシベル高い希望波に対し、希望波の周波数から（±）一五MHz離れた周波数において、基準感度より三九・五デシベル高い帯域幅が五MHzの変調された妨害波を加えた場合において、スループットがその最大値の九五％以上（注3）	